（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（南信州地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	昭和歌謡レコードを活用した地域振興拠点整備事業
事業主体 （連絡先）	阿智つくりびとの会 （090 - 8032 - 0848）
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,474,214　円 （うち支援金： 1,832,000　円）

事　業　内　容

阿智村、飯田市で個々に活動していた団体が連携してそれぞれの課題を解決しつつ、過疎地域に交流人口を増やすための地域振興拠点を整備する。
・地域振興拠点として昭和レコード博物館を整備し、活動を開始した。
・過疎地域にあって地域住民の生活を支える商店を改修整備することで事業が継続されて地域の利便性を維持する体制ができた。



【開館した昭和レコード博物館】

事　業　効　果

①阿智村、飯田市それぞれの団体の課題が解決できた。飯田市の団体においては貴重な昭和遺産である昭和歌謡レコードを保存展示する拠点ができた。阿智村の団体においては、**過疎地域の商店の空きスペースを活用し、地域住民の交流や賑わいの創出につながった。**

・レコード博物館には村内外、県外からも来客があり、地域の観光振興とともに関係人口の創出・拡大が期待できる。

・修整備した商店では地元住民による水引ワークショップや地元農産物の展示販売を行い、地域住民の交流や生活利便性の維持ができた。

【目標・ねらい】

①地域交流拠点としての活用と関係人口の創出

②地域交流拠点としての活用と地域住民の生活利便性の維持

※自己評価【A】

【理由】
昭和レコード博物館は多方面から注目されマスコミにも多数取り上げあられ本取組みへの理解を得られた。博物館と商店の相乗効果もあり地域に賑わいを取り戻す拠点づくりができた。

今後の取り組み

昭和レコード博物館の認知度をさらに上げるためのPRを継続して行い入場料等の財源を確保するとともに、関係人口創出のためのファンづくりのきっかけとするための各種イベントを実施する。地域への福祉効果も上げるために認知症予防のための「回想法」にも活用してもらう関係機関との体制づくりを行う。